



『マジス』はラテン語で、イエズス会のモットー「神のより大いなる栄光のために」を表しています。  
 教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』（教皇フランシスコ）—「ミッション2030」—祈りを深める

## ■2月14日 灰の水曜日 のミサ■

7:00 12:00 19:00

18:00のミサはありませんのでご注意ください。

### 日本創立70周年に寄せて

援助マリア修道会は昨年、日本創立70周年を迎えました。

1946年10月20日、援助マリア修道会創立者マリ・テレーズ・ド・スピランの列福式がローマで行われました。その式に参列しておられたイエズス会のラサール（愛宮真備）神父様は、戦後の日本復興のために、修道会の派遣を時の総長に依頼されたのです。この偶然の一致に神のみ摂理を読み取った総長は、援助マリア修道会の日本派遣を決定し、フランスから4人の修道女を送りました。翌1947年12月、日本に到着した4人のフランス人宣教師たちは、広島県西部に位置する福山市、空襲で荒廃した小さな都市に居を据えることになったのです。

本会は創立当初からの伝統に従って、弱く貧しくされた人々、若い人々への奉仕を優先し、常に信仰の目覚めと育成、全人格的成長を援助することを目標にしてきました。福山に援助マリア会を創立したシスターたちは、時の印に女子教育の必要を読み取り、まず教育活動から始めました。現在では幼稚園から高等学校までを擁する福山暁の星学院として成長しました。また教会と社会の必要に応じて、教会での奉仕、特にキリスト教講座やカテケシス、霊操や祈りの指導に当たってきました。また、難民の方々や国内移住者のための働きも本会の特徴のひとつ

です。このように、あらゆる機会を捉えて青少年の育成に携わり、弱い立場にある人々と共に歩むことを使徒職の根幹に据えてきました。

混沌とした現代の社会にあって将来を見つめるとき、「人々と共にあること、分かちあうこと」を優先していくよう呼びかけを感じます。現在、東日本大震災の被災地南相馬でカリタス南相馬をベースに、数人の会員が被災した方々とのかわりを大切に生きています。共にあることを通して人々の痛みが見えてきます。今日の日本社会で、さまざまな問題や不安を抱えて苦しみ、生きることに希望を失っていく人が増えていくように感じます。私たちの出会う人々がかかわりを通して、ほんの少しであっても、愛される喜び、信じることの喜びと希望をもって生きることができるならば、そこにこそ福音が生まれるのではないのでしょうか。地道な歩みであっても、さまざまな場で、「共にあること、分かちあう」ことを生き、そこから新たな力を汲みながら歩み続けたいと願っています。

援助マリア修道会 日本責任者  
朝廣 絹子

## 四旬節黙想会

3月21日(水) 春分の日

テーマ:「フランシスコ教皇に学ぶ 祈りとミッション(使命)」

指導: ホアン・アイダル神父

(イエズス会・上智大学神学部教授)

場所: 主聖堂

午前の部 10時～11時半

午後の部 13時～14時30分

15時からミサ

## 2月の共同祈願

全能の神よ、私たち一人ひとりに託されている使命を  
果たすことが

できるように、力づけてください。

主イエスとともに働いていくことができますように。

### 朝の祈りにおいて: 恵みを願って一日を始めよう

今日も、自分に与えられている使命を果たしていく  
ことができますように。

### 晩の祈りにおいて: 今日一日の活動をふりかえってみよう

今日一日、自分に与えられた使命をどう果たすことができたかを  
ふりかえってみましょう。果たせたことに感謝の祈り、  
できなかったことに悔い改めの祈りをささげます。

## 「ミッション2030」— 祈りを深める⑧

### 祈りの力

私が受洗したのは10年以上前のことですが、岩島神父がキリスト教信仰入門講座の最初の講話で3項関係の話をされました。この世には自分と自分以外のものしかないと考えるのが2項関係、天地の創造主である神と自分と自分以外の被造物を意識するのが3項関係である。神を意識しない生活はまさに2項関係の失樂園の世界。神と共に生きる人生が3項関係の世界であり、神に自分を委ねることにより人は樂園に生きることができるという話でした。

さて、30数年前、私は砂漠の国に事務所を設立せよとの命を受け、文字通り湾岸諸国を放浪の生活をしながら約一年間にわたり当局の認可を求める交渉を行った経験があります。着任早々、かの地では大変なカルチャーショックを受けました。彼らの生活は毎朝モスクの拡声器から大音響で流れる「アッラー アクバル」(アラーは偉大なり)の祈りで始まり、一日5度もお祈りをするのです。そして灼熱の太陽の下で日常の生活はアッラーの神と共にあり、コーランの教えに従って生きています。そして物事が思うようにいかない時は「神のみ旨のままに」と言って自分自身を納得させてしまうところがあります。彼らはまさに3項関係の世界に生きていたのです。

そのような地で不思議な体験をしました。アラブ人との交渉で自分として出来る限りの努力をしても壁にぶち当たることが何度もありました。絶体絶命というときには必死で神の助けを求め祈ったのですが、その都度祈りが届き、どこからともなく救いの手が差し伸べられ局面が開かれる経験をしました。おかげで不可能と思われたミッションは達成され、当時は神が自分と共にいて下さると感じ勇気づけられたものです。

天地の創造主である唯一神の教えを受け、当時の神体験を思い起こし、信者となりましたが、今自分は3項関係の世界に生きていると確信して、毎日神に祈っています。

昨年4月から「ミッション2030」が始まり、この1年皆様もそれぞれの立場で祈りを深められたことと思います。そして祈りの力を感じた方が大勢おられることでしょう。他者のための祈りを神様は特に聞き入れてくださるそうです。身近にも病に苦しむ人達が何人もおられます。その人たちのためにこれからも祈り続けたいと思います。

藤井良昭

## 12月・1月の宣教司牧評議会から

- ・福音宣教として、クリスマスに教会へ来られた方に「クリスマスカード」を配ることにした。
- ・2017アジアユースデー派遣準備委員会は10月末にて解散し、派遣献金残額160,893円は当教会に献金されました。
- ・12月24日クリスマスミサでは17時ミサに来られる人が多く、安全上入堂制限をした。本年クリスマスでは主聖堂以外にスクリーンを設置するなどの対応を検討し、多くの方がミサに参加できるようにしたい。
- ・新年会は例年通りの内容にて行ったが、今後は「教会としての新年会とは？」を考えてみたい。

## 財務報告

- ・11月19日(日) ミャンマーデーの献金1,049,198円をミャンマーの教会に送金しました。
- ・11月26日(日) クリスマスバザーの頒布金は2,609,104円でした。
- ・12月3日(日) 宣教地召命促進の日の献金1,234,782円はローマ教皇庁へ送られ、全世界の司祭養成のために使われます。

## 一粒会献金

2017年の司祭召命のための一粒会への献金は2,037,571円になりました。皆様のご協力に感謝いたします。

## 2017年9月メキシコ大地震災害復興支援

上記クリスマスバザー頒布金と10月の募金活動、その他の支援献金を合わせ、合計500万円をメキシコに本部がある「御聖体の宣教クララ修道会」へ献金しました。



JOYFUL ASIAN YOUTH!  
LIVING THE GOSPEL IN MULTICULTURAL ASIA

私はアジアユースデーを通して、たくさんの喜びを感じました。

1つは同じ信仰を持った若者がこんなに大勢いることを知りとても嬉しかった。日本ではカトリックがマイノリティであるために身の回りに信仰について語り合うことがなかったが、アジアユースデーを通して同じ信仰を持った人々が何をどのように感じているのかを共有しあう機会がたくさんあった。この機会は自分の信仰について深く考えるきっかけに



ホームステイ先にて

なりました。

もう1つは、たくさんの愛を感じたことです。インドネシアをはじめたくさんの方々から優しくしていただき、そして見返りを求めない愛をたくさん与えてもらいました。彼らとミサを受けたり歌ったりしているうちに神様が私たちにたくさんの愛や恵みを注いでくれているのだと感じたことです。

私はインドネシアまでつくまで、たくさんの障害がありました。それでもたくさんの人の助けをうけて、参加することができました。

アジアユースデーを通してハッキリ何かが変わったと言える訳ではないですが、私の心の中に小さな、でもとっても意味のある変化があったと感じた10日間でした。

本当にありがとうございました。

安平ローザジュリア (現中学生会リーダー)

Abira Rosa Julia



クリスマスバザー：手作品から献品まで多彩



クリスマス：手の中のキャンドルの光で心静かに



新年会（日本語）：日本人はやはり日本酒で乾杯



新年会（英語圏）：ダンスでHappy New Year !



新年会（スペイン語圏）：神父様を囲んで乾杯（サルデー）



成人式：みんなで心をひとつにして成人の誓いを

**ミサの時間 Mass**

**【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel**

7 : 00 / 12 : 00 / 18 : 00 (Japanese)

(土曜日 18 : 00 は主日ミサ)

**【日曜日 Sunday】主聖堂 Main Chapel**

7 : 00 / 8 : 30 / 10 : 00 / 18 : 00

(Japanese)

12 : 00 (English) / 13 : 30 (Español)

Xavier Chapel 16 : 00 (Indonesian)

**【月の第1日曜日 1st Sunday】**

Main Chapel 15 : 00 (Việt Nam)

Mary Chapel 12 : 30 (Português)

16 : 00 (Polish)

主任司祭：佐々木良晴

助任司祭：英 隆一郎

(アルファベット順) ギユンタ・ケルクマン

田丸 篤

協力司祭：平林冬樹

ヘネロン・フローレス

ハビエル・ガラルダ

シスター：イベッテ・サンチェス

(セントロ・ロヨラ)

アヴェリーノ・アウレア・ビスナー

(ジョン・デ・ブリット イングリッシュセンター)

**カトリック麴町教会（聖イグナチオ教会）**

〒102 - 0083 千代田区麴町6 - 5 - 1

TEL 03 - 3263 - 4584 FAX 03 - 3263 - 4585

ホームページアドレス : <http://www.ignatius.gr.jp>